

## 主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 4

神の息を持つ神の人と、

主がわたしたちの霊と共にいてわたしたちのカづける恵みとなること

聖書：Ⅱテモテ 3:14-17. 4:22. 1:6-7. 2:1

- I. 神の究極の意図は、団体の神・人を得て彼の団体の現れとすることです。神が願っているのは良い人 (a good man) ではなく、神・人 (a God-man)、すなわち神の息を持つ神の人です——ヨハネ 1:1, 14. Ⅰテモテ 3:15-16. Ⅱテモテ 3:16-17 :
- A. 「エホバ・神は土のちりで人を形づくり、その鼻の中に命の息を吹き込まれた。すると人は生きた魂となった」——創 2:7 :
1. 人の体の中に吹き込まれた命の息は、人の霊となりました——箴 20:27. ヨブ 32:8.
  2. 人の体の中に吹き込まれた命の息は、神の永遠の命ではなく神の霊でもありませんでした。しかし、人の霊は神の命の息から出て来たので、神の霊ととても近いのです——参照、創 2:8-9.
  3. ですから、霊なる神と人の霊の間には伝達があり得、人の霊は神と接触し、神と一になることができます——ローマ 8:16. Ⅰコリント 6:17.
- B. 「彼は……彼らの中に息を吹き込んで言われた、『聖なるプニューマ (Pneuma) を受けよ』」——ヨハネ 20:22 (文字どおり) :
1. 聖なるプニューマは聖霊、あるいは聖なる息です。
  2. ヨハネによる福音書には三つのすばらしい表現があります。それは言、肉体、息です。言は神であり、肉体は人であり、息はその霊です——1:1, 14. 20:22.
  3. 言は肉体と成って法理的な贖いを完成し、復活して聖なる息と成り、わたしたちの有機的な救いのためにわたしたちに内住し、わたしたちに供給しました——1:14, 29. Ⅰコリント 15:45 後半. ローマ 5:10. 10:12-13. 参照、哀 3:55-56. 詩 5:3. 77:1. 107:6, 13, 28. 119:147.
- C. 「聖書はすべて、神の息吹かれたものであり」——Ⅱテモテ 3:16 前半 :
1. 聖書、神の言葉は、神の息吹き出したものです。
  2. 神の語りかけは神の息吹き出したものです。ですから、彼の言葉は霊、あるいは息です——ヨハネ 6:63.
- D. このすべてが啓示しているのは、神の息を持つ神の人となることはわたしたちの霊を訓練し、その霊を絶えず受け、神の言葉を吸い込むことを必要とするということです——Ⅱテモテ 1:6-7. Ⅰテモテ 4:7. ガラテヤ 3:2. エペソ 6:17-18.
- II. 召会の衰退に対する神聖な予防注射の解毒剤は神の息吹かれた聖書であり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです——Ⅱテモテ 3:14-17 :
- A. 聖書は神の息であり、この息はその霊であり、その霊は命を与えます——ヨハネ 6:63 :

1. わたしたちが聖書を読むことは、神を吸い込んで命を受けることであるべきであり、わたしたちが聖書を教えることは、神を吐き出して命を分け与えることであるべきです——使徒 6:4。
  2. わたしたちはすべての祈りと願い求めによって聖書を読んで神を吸い込む必要があります、またその霊としての言葉を供給して神を他の人の中へと吐き出す必要があります——エペソ 6:17-18. 使徒 6:10. II コリント 3:6。
- B. 神の側で、聖書は神の息吹です。わたしたちの側で、聖書はわたしたちが四つの事柄（教え、戒め、矯正、義の中の訓練）における益として神の息を受けるためです：
1. 教えは啓示と等しいのです。教えるとは、おおいを巻き取って、人が三一の神と彼のエコノミーの何かを見ることができるようになることです——エペソ 1:17. 3:9。
  2. 戒めは、わたしたちが見た啓示から来ます。わたしたちは神のものを見るときはいつも、自分の間違い、悪い行ない、欠点、罪と、その結果が罪を認めさせられ責められることであることを認識します。わたしたちは神を見て、神を知り、神を愛することをすればするほど、ますます自分自身を忌み嫌い、自分自身を否みます——イザヤ 6:1-8. ヨブ 42:5-6. マタイ 16:24。
  3. 矯正は戒めに続き、間違っていることを正しくし、人を正しい道に転換させ、真っすぐな状態に復興する事柄です——参照、7:13-14. ヤコブ 5:19-20。
  4. 義の中の訓練は、神によって訓練されて、わたしたちの生かし出す義としてのキリストを享受し、神によって取り扱われて神と人に対して正しくなること——ピリピ 3:9。
- C. 教え、戒め、矯正、義の中の訓練のために、神が聖書を通してご自身を息吹き出した結果は、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になることです——II テモテ 3:17：
1. 神の人は神・人、神の命と性質にあずかる者であり（ヨハネ 1:13. II ペテロ 1:4）、こうして神の命と性質において神と一であり（I コリント 6:17）、それによって神を表現する者です。
  2. 神の息吹は神・人を生み出します。わたしたちは祈りをもって聖書を読み、啓示、罪を認めること、矯正、義の中の訓練を受けることによって、絶えず三一の神を吸い込む必要があります。
- III. 神の息としての神の言葉を受けて神で構成されることはまた、その霊の剣としての神の言葉を受けて神の敵を殺すことでもあります——エペソ 6:17-18 前半：
- A. サタンはわたしたちの外側の外敵であるだけでなく、わたしたちの内側の内敵でもあります。この内側の内敵を対処するために、わたしたちは言葉の殺す力を経験し、聖書の恒常的な言葉の上で祈って、それがその霊の即時的な言葉となるようにする必要があります——ヨハネ 6:63. エペソ 5:26. 啓 2:7。
  - B. 剣、その霊、言葉は一です。聖書の恒常的な言葉が即時的な言葉となる時（どのような状況でもその霊によってその瞬間に語られた適用する言葉）、その言葉は内敵を殺す剣としてのその霊です——ヘブル 4:12。
  - C. わたしたちが霊の中のすべての祈りによって神の言葉を取れば取るほど、わたした

ちの存在の中の消極的な要素はますます殺されます。最終的に、自己、すべてのうちで最悪の敵、からだの敵は死に渡されます——参照、啓 1:16. 2:16。

- D. わたしたちは内側の消極的なものによって悩まされるときはいつも、霊の中の祈りによって神の言葉を取るべきです。わたしたちの中の消極的な事柄が御言の祈り読みを通して殺されるとき、主は勝利を得ます。
- E. わたしたちは、殺す剣であるその霊としての言葉を受けることによって、召会生活の中で、また務めの中で守られます。殺す剣は霊的な抗生剤であって、わたしたちの内側の「細菌」を殺し、わたしたちが健康なからだの生活、健康な召会生活を生きることができるようにします。
- F. 勝利者は常に主に来て、書かれた御言の中の生ける御言としての主と接触することによって、主の言葉を守り、彼が彼らの中の分与する霊としての適用された言葉となることができるようにします—— 3:8. ヨハネ 1:1. 5:39-40. 6:63.
- G. 勝利者は神の言葉としてのその霊で完全に構成されて、キリストの花嫁また新しい人となります（神の敵を破壊するため、また神の子たちの出現のために、殺す剣としての神の息を持つ神の団体の人）——啓 2:7. 22:17 前半. 19:13-15. II テサロニケ 2:8.

IV. 主はわたしたちの霊と共にいて、わたしたちは彼をわたしたちの力づける恵みとして享受し、召会の衰退の下落する潮流に対して立ちます。恵みは循環する三一の神であり、彼であるすべてをわたしたちの中へと分与してわたしたちの享受とします。召会生活全体は、わたしたちの内側の神聖な三一の循環としての恵みにかかっています—— II テモテ 2:1. 4:22. II コリント 13:14. I ペテロ 5:10. 参照、ヘブル 12:28 前半：

- A. 新約における恵みの最初の事例は、神が肉体と成る事例です——ヨハネ 1:14, 16-17：
  - 1. マリアは神によって恵まれ、神の御前に恵みを得ました。なぜなら、神が来て彼女を訪れ、彼女の中へと入って彼女の中にとどまり、彼女がすばらしいパーソン、すなわち神と人の両方、神・人を身ごもることの本質となったからです——ルカ 1:28, 30, 35. マタイ 1:18, 20.
  - 2. この原則において、恵みとは神の訪れがわたしたちの中にとどまり、わたしたちの中で生まれ、わたしたちと一になり、わたしたちとなりさえすることです——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19. ピリピ 1:21 前半.
- B. 恵みとは、三つの面における三一の神の具体化としてのすばらしいキリストです。その三つの面とは、彼であること、彼が与えるもの、彼がわたしたちのため、わたしたちの享受のために行なうことです。キリストは恵みとして、わたしたちのすべてとなることができます。なぜなら、彼は手順を経て究極的に完成され、命を与える霊と成ってわたしたちの霊に内住しているからです——ガラテヤ 6:18. ピリピ 4:23. ピレモン 25 節：
  - 1. 恵みとは、キリストが何であるかにおけるすばらしいキリストです——ヨハネ 1:14, 17. 8:58. ローマ 5:17, 21. I コリント 15:10. 参照、ガラテヤ 2:20.
  - 2. 恵みとは、わたしたちに与えられ、わたしたちの中へと分与され、キリスト・イエスにある信仰と愛を伴って、際限なく満ちあふれるすばらしいキリストです—— I テモテ 1:14：

- a. もしわたしたちが何かに欠けるなら、この欠けることは、恵みとしてのさらなるキリストが供給されて、わたしたちの時機を得た必要に応じ、わたしたちを彼の中で成長させる機会です——ヘブル 4:16. ローマ 5:17. II コリント 12:7-9. I ペテロ 5:5。
  - b. わたしたちは何もできないとき、行動することができず、力がないとき、それは恵みとしての神の供給に信頼し、それを享受する時です——雅 8:5-6. ヘブル 11:21. 創 47:29, 31。
3. 恵みとは、わたしたちの中でわたしたちのためにすべてを行なうすばらしいキリストです：
- a. 恵みとは、わたしたちの負担を担う方としてのキリストです——I コリント 15:10, 58. II コリント 12:9. ピリピ 4:6-7. イザヤ 9:6。
  - b. 永遠の神を待ち望む者（彼ら自身と彼らの生活、行ない、活動をやめ、キリストにある神を彼らの命、パースン、置き換えとして受ける者）は、彼らを支え、支持し、力づけ、覆い、保護する恵みとしてのキリストの復活の力を経験します——II コリント 12:9. イザヤ 40:31. エゼキエル 1:8. 詩 17:8. 57:1. 63:7. 91:4。
- C. 主の恵みは、わたしたちの日常生活のあらゆる面で、わたしたち各自と共になければなりません。なぜなら、わたしたちは聖徒であるからです。この恵みは新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エルサレムとは、神ご自身を人と結合しミンダリングして、神の栄光なる拡大また永遠の表現とする神の大いなる喜びの究極的完成です——啓 22:21。